

令和4年度子ども議会 第1部(小学生の部・前半10校) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再回答要旨
1	1	深谷小学校	環境にやさしいまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、世界中で地球温暖化による環境問題が進んでおり、このまま地球温暖化が進んでいくと、海面上昇により、いずれ深谷市も海に沈んでしまうのではと不安になりました。 ・地球温暖化の原因ともなる、石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料をもとにしたエネルギーではなく、未来のエネルギーとして注目される「再生可能エネルギー」をもっと使用するべきだと思います。 ・深谷市では、地球温暖化による環境問題について、具体的にどのような取組をしていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、「環境基本計画」などにに基づき、地球温暖化防止対策に取り組んでいます。 ・再生可能エネルギーについては、市役所や消防署などの公共施設に太陽光発電システムの設置を進めているほか、市民の皆さんが自宅に省エネ設備を設置した場合に補助金を交付しています。 ・市内で作った電気を市内で使うことを進めるため、市も協力して、新電力会社「ふかやeパワー」を設立しました。 ・昨年度は、「クールチョイス」の取組として、省エネ家電への買換えキャンペーンやエコカー試乗会、小学生向け環境教育動画の制作・配布を行いました。 ・皆さんが大人になったときも、深谷市の生活環境が守られるよう、再生可能エネルギーの利用をさらに進めるなど、これからも環境にやさしいまちづくりに取り組んでいきます。 	環境課	環境水道部長		
2	2	明戸小学校	税金の使い道について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の租税教室で「税金」について学習しました。 ・深谷市では、税金を何にいくら使うのか、どのように決めているのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の使い道は、毎年4月から翌年3月までの1年間に、市に入ってくるお金と出ていくお金を定めた予算の中で決めています。 ・予算は、市役所の色々な担当の職員が市民のかたの意見を聞いたり、話し合いをしながら税金の使い道を考え、市長が予算の案としてまとめます。 ・市長が作った予算の案を最後に決定するのは、市民の代表である議員で組織される市議会です。市議会が内容を認めると、市の予算が決定して、1年間に何にいくら使うかが決まります。 ・これからは、人口が減少し、市に入る税金が減っていくことが考えられます。そのため、市では入ってくる税金を増やすための取組と出ていくお金を抑える取組を進めています。 ・税金を増やすための取組として、深谷テラスやアウトレットに訪れる多くのお客さんに、深谷市の良いところを知ってもらうことで、深谷市を訪れる人や住む人を増やし、市に入ってくる税金を増やそうと取り組んでいます。 ・出ていくお金を抑える取組としては、情報通信技術(ICT)を活用して、今まで人の手でしていた仕事を自動化することで、時間を短縮したり経費を減らす取組を進めています。また、公民館や図書館、総合支所など、それぞれ別々だったものを一つの施設にまとめることで、市民の皆さんが利用しやすくなり、経費を減らしたりするなど、公共施設の見直しを進めています。 	財政課	企画財政部長		
3	3	桜ヶ丘小学校	道の駅の遊具について	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市内にある3つの道の駅には、子どもたちが遊ぶことができる場所がほとんどないと思います。 ・遊具があれば、買い物をする大人だけでなく、子どもも楽しむことができる道の駅になると思います。 ・道の駅に来る人全員が楽しい思い出を作ることができるよう、市内の道の駅に1つでもいいので、遊具を設置する予定はありませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅おかべ」は道路を挟んで西側の「中宿歴史公園」と、「道の駅はなぞの」は「ひだまりの公園」とそれぞれ隣接しており、ともに公園内に遊具が設置してあります。 ・現在、市内の3つの道の駅は、大変好評をいただいております。駐車場が混み合うこともあります。 ・それぞれ限られた敷地の中での運営を行っており、遊具の設置については、予定がない状況ですので、ご来場の際には隣接の公園などをご利用していただきたいと思います。 	商工振興課	産業振興部長		
4	4	岡部小学校	深谷市をチューリップなどの花ではなやかにする取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、深谷市は大河ドラマや栄一翁の一万円札で注目されています。私は、この機会に深谷市を花のまちとして、もっとアピールしたいと思います。 ・チューリップが深谷市の花ということも、もっとみんなに知ってもらいたいので、ボランティアで花や球根を植えたり、各学校で学区内の道路のわきに季節の花を植えるなどの活動をしてはどうでしょうか。 ・現在、深谷市のチューリップの収穫量は全国区2位なので、1位になって深谷市の花であるチューリップをさらに広められたらいいなと思います。 ・チューリップをはじめ、ユリやコスモスなどが咲くことで、みんなの笑顔が増えると思います。 ・笑顔あふれる花のまち深谷市にしていきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パティオでは、多くのかたがチューリップの球根掘りに参加し、各ご家庭でチューリップを育ててくれています。 ・また、市では市民ガーデニングボランティアと協力して、公共の花壇に花を植える活動を行っています。 ・学校花はなプランでは、幼稚園や小中学校において、子どもたちが保護者や地域のかたと一緒に年に2回、花植えなどのガーデニング活動を行っています。 ・このような活動のほか、「花のまち ふかや」の魅力を広くPRするため、「ふかや花フェスタ」などのイベントも行っていきます。 ・今後も、市民の皆さんと一緒に、チューリップをはじめとする深谷の花を活かしたまちづくりを進めていくことにより、笑顔あふれる花のまちにしていきたいと考えています。 	ガーデンシティふかや推進室	協働推進部長		

令和4年度子ども議会 第1部(小学生の部・前半10校) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再回答要旨
5	5	藤沢小学校	ウクライナから避難されてきた方々から話を聞く機会について	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市では、ウクライナから避難してきた方々を受け入れていると聞きました。 ・私たちは戦争を体験していないため、実際にどのくらいひどいことが起きているのかわかりません。 ・そこで、ウクライナから避難してきた方々から話を聞く機会をつくることはできないでしょうか。 ・戦争の怖さや恐ろしさをみんなで知ること、これから先の未来も平和を保つことができると思います。 ・私は今の平和な深谷が大好きです。この平和をずっと続けていくために、小さなことから思いやりをもっていくことが大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、現在、ウクライナから4名の方々を受け入れています。 ・避難民の方々は厳しい状況から逃れたばかりであり、穏やかに生活してほしいと考えているため、戦争について話を聞く機会を設けることは控えさせていただきたいと考えています。 ・しかしながら、平和を保つために戦争の怖さや恐ろしさを知ることは重要であると考えています。 ・市では、原爆関連の写真パネル展示を毎年実施したり、図書館で戦争関連のDVDの貸出を行っています。 ・各議員には、学校の授業だけでなく、資料館を訪問したり、日本の戦争経験者の話を聞くなど、平和について考えていただきたいと思います。 	福祉政策課	福祉健康部長		
6	6	深谷西小学校	誰もが安心して生活できる、暮らしやすいまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の学習で、「基本的人権の尊重」を学び、人権学習では「体の不自由なかたの生活」について学びました。 ・車いすで生活されている方々にとっては、小さな段差を上げることも大変だということに改めて気づきました。 ・障害のあるかたとしっかり向き合い、誰もが安心して暮らせるまちづくりや環境を整えることが大切ではないかと考えます。 ・深谷市では、障害のあるかたが安心して生活できる、暮らしやすいまちのため、具体的にどのような取組を行っていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、「深谷市障害者プラン」という計画を作り、さまざまな取組を行っています。 ・障害についての理解を深めるため、小学校での障害に関する学習や福祉体験、市民向けの講演会や研修会、広報への記事掲載などを行っています。 ・また、障害のあるかたの生活を支援するため、各種サービスを提供するとともに、専門の相談窓口を設置しています。 ・市では、障害のあるかただけでなく、子どもや高齢者など、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを進めています。 ・市役所や公民館などの公共施設における段差の解消や点字ブロックの整備など、誰もが安全・安心に暮らせる生活環境の整備を行っています。 ・市では、「誰もが自分らしく幸せに暮らせるまち ふかや」を目指して、これからも障害のあるかたが安心して生活できる、暮らしやすいまちになるように取組を進めていきます。 	障害福祉課	福祉健康部長		
7	7	常盤小学校	深谷市の地球温暖化防止への取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・深谷市では、地球温暖化を防止するため、「深谷市地球温暖化対策実行計画」を作り、令和4年度までに温室効果ガスを3%減らす目標を立てていると知りました。 ・実際に取り組んでいる内容を小学生にもわかりやすいように説明してください。 ・小学生の僕たちにも、電気を無駄遣いしないことなど、できることがあるのではないかと思います。 ・深谷市の計画内容が市内の小中学生に広まれば、さらに環境への意識や行動が変わると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、「深谷市環境基本計画」や「地球温暖化対策実行計画」などに基づき、地球温暖化を防止する対策に取り組んでいます。 ・具体的な取組として、公共施設の改修や公用車の買換えのときは、省エネルギー性能が高いものを選ぶこと、また、昼休みの消灯や緑のカーテンの実施、冷暖房の適正な温度設定などを実施しています。 ・皆さんも、エコバッグの持参やマイボトルの利用、食べ残しをなくす、水道やシャワーの出しっ放しを止めるなど、気軽にできる身近なことから地球温暖化対策に取り組んでみてください。 	環境課	環境水道部長		
8	8	八基小学校	誰もが幸せに暮らすことができるまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の八基のまちづくりプランについて、みんなで考えましたが、自然が豊富な深谷市で若者からお年寄りまで同じように幸せに暮らせるとよいと思っています。 ・また、私たちはタブレットを使って楽しく学習していますが、お年寄りもうまく使うことができればいいと思います。 ・深谷市では、お年寄りと同様にタブレットをうまく使うなど、誰もが幸せに暮らすことができるまちづくりに関する事業計画はありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、昨年度、「深谷市デジタル化推進計画」を作りました。 ・デジタルのサービスは、若者は当たり前に使っていても、お年寄りにとっては難しかったり、利用する環境がないこともあるため、市では、お年寄り向けのスマートフォン教室などの開催や、「ふっかちゃんWi-Fi」の整備を行っています。 ・今後も、さまざまな取組を通じて、若者からお年寄りまで、便利に、幸せに暮らせるよう、デジタル化を進めていきたいと考えています。 	ICT推進室	企画財政部長		
9	9	豊里小学校	渋沢栄一翁に関連する看板の設置について	<ul style="list-style-type: none"> ・私の家の近くにレンガ工場があり、観光客が訪れていました。その時、私の母が観光客のかたに渋沢栄一記念館までの道のりを尋ねられましたが、わかりづらく、結局教えることができませんでした。 ・市では、渋沢栄一翁に関する建物に行くまでの道路について、駅前や国道等の大きな道路、人通りの多いところへの新たな看板の設置など、今後の対策はありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客のかたへのご案内としては、これまでも国道等の大きな道路の主な交差点に案内標識を設置し、また、市街地から「渋沢栄一誕生地」を案内する看板をあちこちに建てています。 ・また、観光ガイドマップを作成し、市内の施設などで無料配布したり、市のホームページ上で案内するなどの対策を行っています。 ・実際に来られたかたのご意見を伺いながら、どういった案内の仕方が最も適切であるか、案内方法や案内する場所などについてよく考え、効果的な対策をとっていきます。 	渋沢栄一記念館	渋沢栄一政策推進部長		

令和4年度子ども議会 第1部(小学生の部・前半10校) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	担当課	答弁者	再質問要旨	再回答要旨
10	10	幡羅小学校	元東芝工場跡地の活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・元東芝工場跡地は、とても広く、花園方面、本庄方面、熊谷方面、群馬方面からの交通の便もよい場所です。その跡地の半分が会社を買われて活用されるというニュースを見ました。 ・土地自体は深谷市ものではありませんが、大きな土地を地域や市のために活用してもらえたらいいと思います。 ・花園アウトレットに来たお客さんを工場跡地の方へ誘導する工夫をすれば、深谷市のさらなるアピールにもつながり、花園地区の渋滞も緩和されるのではないかと思います。 ・工場跡地に観光地になるようなものをつくったり、それが長続きするような工夫をするなど、深谷市として土地を所有する企業に働きかけていく計画はありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この場所に建設できるのは、工場や倉庫などに制限されているため、人を呼び込めるような商業施設や娯楽施設、住宅などは建設できないこととなっています。 ・また、この場所は企業が所有している場所であるため、市がどのように使うか決めることはできません。 ・しかしながら、市としても今後も東芝の動向に注目し、市の活性化につながる活用をお願いするとともに、アウトレットを訪れた方々に幡羅地区を含めた市内全域を回遊してもらえるような仕掛けづくりを行っていきたいと考えています。 	産業ブランド推進室	産業振興部長	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全体を回遊してもらうための具体的な取組を教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では、市内の店舗など約70箇所を巡る「ぐるっと深谷ガチャ」というデジタルスタンプラリーを実施しています。 ・この取組では、市内全体に約70箇所のスポットを設置すること、また、景品に市内各地の店舗で使える割引券を入れることで、市内回遊を促進しています。 ・また、アウトレットや畠山重忠公ゆかりの地などを巡るコースマップや渋沢栄一翁関連施設を巡るコースマップを作成し、市内回遊の促進を図っています。